

IPW緩和ケアコース 多職種協働事例検討研修

北信がんプロ科目-単位申請対象セミナー

日時 2025 1.11 土 13:00-16:00

5.11(済)/7.13(済)/9.14(済)/11.9(済)/3.8 (全6回)

申込 長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」から、または右のQRコードからお申し込みください。その際に、申込みフォームお問合せ欄に、**第何回を受講されるかを記入**してください。(例：全回希望、第1、2回希望など)



第5回

1.11(土) 『終末期鎮静療法』とSDM (協働意思決定)

事例 Aさん(女性)は40代後半の乳がんで終末期である。多発性脳転移と声帯麻痺で呼吸困難が強く、鎮静の対処となった。鎮静は本人家族の同意で行われたが、家族からいろいろな疑問や要望が(休日でも)主治医にあり、また、看護師にはケアのやり方で多くの苦情がよせられ、現場は混乱している。どのような解決策があるのだろうか？！

講師：梶山 徹氏 (北野病院 緩和ケアセンター長)



第1回 5.11(土) ケミカルコーピング

事例 痛みの訴えと易度性が高くなっている。これは医療用麻薬の依存症？

第2回 7.13(土) 倫理ジレンマ

事例 認知症高齢者への積極的
化学療法。家族の要望ではあるけれど…

会場 オンライン (ZOOM)

対象 医師・看護師・MSW・薬剤師など

第3回 9.21(土) コンフリクト

事例 BSCを告げる時、激しい「怒り」で、治療継続を求める患者家族

第4回 11.9(土) 倫理ジレンマ

事例 AYA患者の治療拒否
家族は治療希望で医療者間でも意見が分かれて…

第6回 3.8(土) 多問題家族

事例 一人親家庭の親が終末期となった。子どもには、病気の話をしていなくて…